

令和4年11月4日（金）第5校時

- 1 単元名・教材名 「声の出し方やうごきをくふうして『あけたち げき場』をひらこう」  
共通教材「お手紙」（光村図書 国語2年）

## 2 単元設定の理由

### (1) 学級及び児童の実態

本学級は、児童6名が在籍している自閉症・情緒障害特別支援学級である。気持ちを安定させることや、集中力を持続させること、知識と経験を結びつけること、自分の成長を実感すること、自己有用感をもつことなどに課題があり、個別の指導・支援が必要である。

「読むこと」においては、朝の時間や全校読書活動の時間に自分で読みたい本を選んで時間いっぱい読むなど、読書を楽しむ姿が見られる。また、休み時間に図書室を利用する児童が多い。1人1人の読んでいる本の内容をみると、図鑑や漫画とイラストで知識を説明する本を選んでいる。「物語を読むこと」においては、「あらすじを上手に説明してみたいけど、難しい。」「分厚い本を読んでもみたいけど、内容がわからなかったら嫌だな。」など興味をもっていても難しさを感じている様子が見られる。

これまでの学習においては、それぞれの読みの発達段階に合わせて、物語の設定を読み取ること、読み取ったことに対して感想をもつこと、読み取ったことをもとに主題を考えることなどを学習した。「昔話を楽しもう」では、共通教材として「おむすびころりん」を読み取り、「1こめは、落ちちゃったけど、2こめは自分から落としている。おじいさんが面白い。」「ふつうは、大変と感じることを、このおじいさんは、楽しめている。」「ねずみという小さな生き物も大切にしているから、ねずみから感謝された。」など、登場人物の人間性や主題に迫る読み取りができていた児童も半数以上いた。習ったことを学級の教員や友達に教えたり、自主学習でまとめたりする姿が見られた。本学級は異なる学年の児童が在籍し、読むことについて様々な実態がある。しかし、本教材については、それぞれの児童が魅力を読み取り、感じるができることと考える。個性豊かな登場人物に愛着をもち、共感的に読むことが予想される。1人1人の児童の素直な感動に寄り添い、大切にしながら読みの技術を身に付けていくことができるようにしたい。

### (2) 教材について

本単元では、アーノルド・ローベルの「お手紙」を読んで、読み取ったことを根拠に声の調子や、強弱、表情や動きなどを工夫した音読劇をする学習活動を行う。幸手市内の特別支援学級合同で行っている交歓会で発表することを学習のゴールに設定して、その過程で「読んだことをもとに、登場人物の行動や気持ちを想像すること」「読み取ったことをもとに、声の出し方や動きを工夫すること」「文章を読んで感じたことや分かったことを他者と共有すること」をねらう。

「お手紙」は、中心人物「がまくん」が、自分を想ってくれる「かえるくん」の温かな気持ちに改めて気付き、2人とも幸せな気持ちになるほのぼのとした物語である。「一度もお手紙をもらったことがない。」と悲しんだり、あきらめたり、ふてくされたりするがまくんと、そんながまくんに共感して一緒に悲しんだり、励ましたり、元気づけたりするかえるくんの心の交流は、読み手も温かな気持ちにさせる。

作品の特徴として、大きく次の2点が挙げられる。1点目は会話文を中心に展開していくことである。誰の台詞か、どんな気持ちの台詞かなどを丁寧におさえて、登場人物同士の掛け合いや、2人の温かな心の交流を読み取らせたい。2点目に、挿絵もアーノルド・ローベルが描いていることである。そのため、挿絵にも直接的に作者の意図が反映していると考えられる。お手紙を待つ2つの場面の違い、物語の筋や、場面の様子、中心人物の変化などを読み取る際に文章と対応させて丁寧に扱いたい。

◎単元の位置づけ

学年	教材名	目標及び内容	読みの技術	学習用語	○学ぶ楽しさ(言語活動) □交流する内容	並行読書内容	個別の到達目標
1年	はなのみち	(1)イ (2)イ⑥	○設定を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定</li> <li>・時</li> <li>・場所</li> <li>・登場人物</li> <li>・中心人物</li> <li>・語り手</li> <li>・地の文</li> <li>・会話文「 」</li> <li>・出来事</li> <li>・行動</li> <li>・題名</li> <li>・繰り返し</li> <li>・訳す</li> <li>・訳者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役になりきって読む</li> <li>○動作化をする</li> <li> </li> <li>□好きなどころ</li> <li>□おもしろかったところ</li> <li>□読んで感じたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(日本の昔話)</li> <li> </li> <li> </li> <li> </li> <li>外国の昔話</li> <li> </li> <li>(外国のお話)</li> </ul>	F児 G児
	おおきなかぶ	(1)ク (1)イ (2)イ⑥	○場面を読む				
	おむすびころりん	(1)ク (3)ア (1)イ (2)イ⑤	○気持ちの根拠				
	やくそく	(1)ク (1)イ・エ (2)イ⑧	○動きの理由				
	くじらぐも	(1)ウ・オ・ク① (1)イ・エ (2)イ⑦					
	おかゆのおなべ	(3)エ (1)ア・ウ ④ (1)カ (2)イ④					
	たぬきの糸車	(1)オ・ク (1)イ・エ (2)イ⑧					
ずうと、ずと、大すぎだよ	(1)オ・ク (1)エ・カ (2)イ⑧						
2年	ふきのとう	(1)ク① (1)イ (2)イ⑧	○確かめながら読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定</li> <li>・時</li> <li>・場所</li> <li>・登場人物</li> <li>・中心人物</li> <li>・語り手</li> <li>・地の文</li> <li>・会話文「 」</li> <li>・出来事</li> <li>・行動</li> <li>・題名</li> <li>・繰り返し</li> <li>・訳す</li> <li>・訳者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あらすじを紹介する</li> <li>○想像したことを音読劇にする</li> <li>○心に残ったところを感想に書く</li> <li> </li> <li>□似ている・違うを考える</li> <li>□心を動かされたところと、そのわけ</li> <li>□いろいろな感じ方の違いに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がまくん・かえるくんのでてくるシリーズ</li> <li> </li> <li>おなじとしぐらいの子のでてくる本</li> <li> </li> <li>いろいろな国の昔話 土地に伝わる話</li> </ul>	
	スイミー	(1)オ (1)イ・エ (2)イ⑨	○様子に注目する				
	ミリーのすてきなぼうし	(3)エ (1)カ (2)イ⑥	○したことや様子を思い浮かべる				
	お手紙	(1)オ・ク (1)エ・カ (2)イ⑫	○お話にある絵やことばを読む				
	せかいーの話	(3)ア (1)イ・エ・オ (2)イ①	○行動・台詞の根拠				
	わたしはおねえさん	(1)オ (1)イ・エ・オ (2)イ⑩	○自分とくらべて読む				
	スーホの白い馬	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ (2)イ⑭	○言葉をもとに想像する				
		○お話の順番に読む					
		○題名や挿絵を手掛かりにする					

学年	教材名	目標及び内容	読みの技術	学習用語	○学ぶ楽しさ(言語活動) □交流する内容	並行読書内容	個別の到達目標
3年	きつつきの商売	(1)ク (1)イ (2)イ ⑧	○中心となる場面を捉える  ○立場による見え方や考え方の違いを捉えて読む  ○人物像を捉えて読む  ○中心人物の変化を捉える	・音読 (声の強弱はやさ・高さ)  ・起承転結 ・場面の対比 ・ファンタジー ・民話 ・視点(視点人物) ・心の中の言葉 ・心情描写(比喩、擬人法、擬音語、色彩語)	○様子を思いうかべて読む ○感想を書く ○感じたことをまとめる  □読んで想像したことを伝え合う □読んで感じたこととその理由 □友達とのちがいを □登場人物について話し合う □他の人と共有することで理解が深まる		C児 D児 E児
	まいごのかぎ	(1)オ (1)イ・エ (2)イ ⑥				ふしぎなことがおこる物語	
	ちいちゃんのかげおくり	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ (2)イ ⑩				戦争が描かれた物語	
	三年とうげ	(1)オ (1)イ・エ (2)イ ⑥				世界の民話	
	モチモチの木	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ (2)イ⑫				斎藤隆介の本	
4年	白いぼうし	(1)ク (1)イ・オ (2)イ ⑦	○諸感覚を働かせて読む  ○伏線の役割を考えながら読む  ○物語の仕組みを捉えながら読む  ○表現の効果を考えながら読む	・伏線 ・視点の転換 ・ダツシュ — ・リーダー … ・時代背景 ・読後感	○物語について話し合い考えを深める ○他の人の考えに触れて、物語に対する考えを深める ○印象的な言葉から物語を紹介  □友達と感じ方を比べる		B児
	一つの花	(1)オ (1)イ・エ・オ (2)イ ⑦				新美南吉の本	
	ごんぎつね	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ (2)イ ⑫				自分と同じくらいの年の人	
	プラタナスの木	(1)オ (1)イ・エ (2)イ ⑧					
	初雪のふる日	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ (2)イ ⑦					

学年	教材名	目標及び内容	読みの技術	学習用語	○学ぶ楽しさ(言語活動) □交流する内容	並行読書内容	個別の到達目標
5年	なまえつけてよ	(1)オ  (1)イ・エ ④	○中心人物の変化に注目して読む ○登場人物の相互関係の変化を捉えて読む ○中心人物の変化から主題を読む ○額縁構造を捉えて読む ○一人称視点と三人称視点の効果を考えて読む ○作品の仕組みから主題を読む	・主題 ・相互関係 ・額縁構造 ・一人称視点、三人称視点	○人物の心情や場面の様子を表す表現を味わい朗読で表現 ○物語の魅力をまとめる ○視点のちがいに注目して読み感想をまとめる ○作品の世界をとらえ、自分の考えを書く	自分とはことなる立場の人がでてくる本 自分と似ている人物がでてくる本	B児
	カレーライス	(3)オ (1)オ・カ ⑤(2)イ5				遠い時代や遠い場所に思いをはせる物語	
	たずねびと	(1)オ (1)イ・エ・オ・カ ⑥				動物や動物と人との交流を描いた作品	
	大造じいさんとガン	(1)オ・ケ (1)イ・エ・オ・カ ⑥ (2)イ6				複数の立場からの視点で描かれた作品。	
6年	帰り道	(1)オ・ケ (1)イ・エ ④					
	やまなし [資料]イ ーハトー ヴの夢	(1)オ・ク (1)エ・オ ⑧ 8					
	海の命	(1)オ (1)エ・オ・カ(2)イ ⑥					

### (3) 指導・支援について

文学的作品を読書する楽しさは、「自分が得られないことを疑似体験できること」「物語に出てくる人物の生き方や考え方から刺激を受けられること」「読んで得た驚きや感動、気づきをだれかと共有できること」などが考えられる。本単元では、音読劇をする学習活動を通して、文学的作品を読むことの楽しさを得るための読みの技能を獲得することをねらいとしている。

そこで、物語文を読むために必要な技能の系統性を整理して、教えることと考えさせることを分けられるようにした。単元を通して、内容理解だけでなく、物語文を読むために必要な技能が身に付くような発問になるように吟味した。また、「どこに気を付けて読んだらよいか分からない、曖昧で答えがない気がする。」などの難しさに対応するために、ユニバーサルデザインの視点で学習活動を焦点化したり、考えたことや前時までの学習を可視化したりしていく。また、小集団でも、みんなで学習する良さや楽しさを感じられるように、学年やそれぞれの児童に合わせた段階的な支援を用意して、共通の土台のもとに意見交換ができるようにしたい。

読みに関する個別の到達目標

過程	学習内容・ねらい	読みに関する個別の到達目標						
		A	B	C	D	E	F	G
I 文字を読む	絵本に興味をもつ							
	文字を記号として認識する							
	絵本の中の物の名前を言う							
	文字を読む方向が分かる							
	自分の名前がわかる、自分の名前の文字を探す							
	身近な単語を読む							
	音韻分解(音の数がわかる)							
	音韻抽出(音の順番がわかる)							
	1文から身近な単語が読める							
	2～5文程度の文章から、身近な単語が読める							
II 導入	音読劇に関心をもつ							
	お手紙の全文を読み、題名、作者、物語の結末がわかる							
III (1学年程度) 物語の設定 を読む	だれが出てくるかわかる							
	だれが言ったことかわかる							
	だれがしたことかわかる							
	いつがわかる							
	どこがわかる							
	なにがおきたかわかる							
	だれが主役かわかる							
	中心人物がなぜ、したのかわかる							
中心人物がなぜ、言ったのかわかる								
IV (2学年程度) 物語の場面 を読む	言葉をもとに想像することができる							
	出来事がわかる							
	出来事の順番がわかる							
V (3学年程度) 中心人物の変 化や人物像を 読む	中心人物の気持ちの変化がわかる							
	対人物がわかる							
	中心人物の人物像がわかる							
	立場による見え方や考え方のちがいがわかる							
VI (4学年程度) 物語の構成や 表現の効果を 読む	起承転結がわかる							
	場面を比べて読むことができる							
	物語の視点がわかる							
	心情描写を読むことができる							
VII (5・6学年程度) 主題を読む	登場人物の相互関係の変化から読む							
	中心人物の変化から読む							
	作品の仕組みから読む							
日常生活と 物語を読むこと	交歓会に参加しよう	生活単元学習15時間と合わせた指導						
	学校図書の利用	日常生活と合わせた指導						
	言葉や文字の習得・情報の読み取り	自立活動10時間と合わせた指導						
	朝読書、全校読書、家読	日常生活の指導と合わせた指導						

### 3 研究主題との関わり

< 国語科における課題研究に迫るための仮説と手立て >

#### 仮説①

単元を通してつけたい力を明確にし、それに合わせた課題や発問を精査して提示すれば、主体的に学習に取り組む児童が育成できるであろう。

#### 手立て【単元のゴールの明確化】

生活単元学習と関連させて、「あけたち げき場をひらこう」を単元のゴールとして提示する。幸手市内の特別支援学級合同で行っている交歓会で発表することを学習のゴールに設定して、その過程で「読んだことをもとに、登場人物の行動や気持ちを想像すること」「読み取ったことをもとに、声の出し方や動きを工夫すること」「文章を読んで感じたことや分かったことを他者と共有すること」をねらう。

#### 手立て【発問の吟味】

内容理解だけでなく、物語文を読むために必要な技能が身に着くような発問になるように吟味した。本単元では、以下の観点で発問の候補をいくつか考え、比較・検討した。

(発問作りの観点)	(発問を吟味した観点)
<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの現状理解</li><li>・読みの理想状態を設定</li><li>・読み過ごし、読み足らず、読み誤りの理解</li><li>・選択肢で問う</li><li>・○×で問う</li><li>・限定して問う</li><li>・数を問う</li><li>・言葉について問う</li><li>・確認のために問う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・考えることが明確</li><li>・子どものできそう感がある</li><li>・深く考えさせる</li><li>・答えが多様</li><li>・子どもが正誤を判断できる</li><li>・分かりやすく短い</li><li>・気づきがある</li><li>・間違いに気づく・思い込みを揺さぶる</li><li>・読みが深まる、統合される</li><li>・読みの技能が向上する</li><li>・他の教材に応用可能</li></ul>

#### 仮説②

児童に学習の見通しをもたせ、学習したことを振り返らせれば、自らの学びや成長を実感させることができるであろう。

#### 手立て【学習の見通し】

第1次で音読劇についてイメージを持ち、学習計画を立てる。第2次で音読劇をつくるために必要な物語の読み方、読み取ったことを生かした音読の工夫について学ぶ。第3次で「ふたりは・・・」シリーズから好きな作品を選んで、音読劇をつくる。この単元計画を可視化して、本時は何を学ぶのか意識して学習に向かえるようにする。

#### 手立て【振り返り時間の設定】

本単元では個々の実態に応じて、振り返りの方法を変える。選択したり、観点を示したり、自由に記述したり、類似の問題を解いたり、実践したりなどである。

### 仮説③

対話的・協働的な学習や、児童の思考を整理する工夫を取り入れれば、児童の読解力・表現力を高めることができるであろう。

#### 手立て【個別の学びと協働的な学び】

本学級は、1年生から6年生までの異年齢で形成された小集団であり、個々によって読みの技能に差がある。教わることと考えることが明確になることで、必要な用語や原理・原則を獲得して、共通の土台で伝え合うことができるようにしたい。

#### 手立て【思考の整理】

本時に学ぶ内容を焦点化できるように、学習内容に合わせてユニバーサルデザインの視点から「順を変える、選択肢をつくる、置き換える、隠す、加える、限定する、分類する、図解する、配置する、仮定する」などのしかけを共通の学習活動として設定した。

また、気持ちを想像する際に、表情カード、気持ちの絵カード、行動カードなど可視化できるものと一致させる活動を入れて、整理できるようにした。

#### 4 単元の目標

	単元の目標						
	A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児
	小学校学習指導要領					知的障害対応特別支援学校（小学部）学習指導要領	
	第3・4学年	第5・6学年	第3・4学年	第3・4学年	第3・4学年	2段階	1段階
知識・技能	<p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選ぶことができる。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>読み取ったことをもとに、声や表情、動作などを工夫して音読することができる。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選び、音読することができる。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>言葉のまとまりに気をつけて、慌てずに音読することができる。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>声や表情、動作を工夫すると気持ちが伝わる音読になることを知る。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>日常生活でよく使われている平仮名や言葉を読むことができる。</p> <p>アー(イ)</p>	<p>読み聞かせに注目し、お話に興味をもつことができる。</p> <p>イー(エ)</p>
思考・判断・表現	<p>がまくんとかえるくんの立場の違いを捉えて、気持ちを想像することができる。</p> <p>C(1)ーエ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像することができる。物語の主題について考えることができる。</p> <p>C(1)ーエ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができる。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>読み取ったことをもとに、中心人物の行動のわけを想像することができる。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができる。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。</p> <p>Cーア</p>	<p>教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。</p> <p>Cーア</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>物語を読むことや、音読劇を発表することに対して目標をもって学習しようとしている。</p> <p>学んだことや友だちの意見を取り入れて、音読の仕方を工夫しようとしている。</p>	<p>単元に対する自分の目標をもち、目標達成のために見通しをもって学習しようとしている。</p> <p>自分の音読の様子を観たり、友だちの意見を聞いたりして、音読劇をよりよくしようと練習している。</p>	<p>学習活動のまとまりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしている。</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしている。</p>	<p>学習活動のまとまりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしている。</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしている。</p>	<p>物語を読むことや、音読劇を発表することに対して目標をもって学習しようとしている。</p> <p>いろいろな声の出し方を試して、音読劇をよりよいものにしようとしている。</p>	<p>「できるようにになりたいこと」「わかるようになりたいこと」を自分で決めて、学習しようとしている。</p> <p>自分の役の練習に前向きに取り組んでいる。</p>	<p>学習や学習内容に興味をもって取り組もうとしている。</p> <p>友だちの発表を聞こうとしている。</p>
自立活動	<p>自信をもって学習に取り組み、わかったことや、考えたことを伝えようとしている。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現したり意思表示したりする。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>学級やグループの友だちと一緒に学習ができる。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できる。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>友達の意見や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができる。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>課題に対して落ち着いて取り組む。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>少し難しそうと感じても、学習に取り組んでみようとする。</p> <p>(心理的安定)</p>



5 単元の評価規準

	単元の評価規準						
	A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児
	小学校学習指導要領					知的障害対応特別支援学校（小学部）学習指導要領	
	第3・4学年	第5・6学年	第3・4学年	第3・4学年	第3・4学年	2段階	1段階
知識・技能	<p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選ぶことができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>読み取ったことをもとに、声や表情、動作などを工夫して音読することができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選び、音読することができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>言葉のまとまりに気をつけて、慌てずに音読することができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>声や表情、動作を工夫すると気持ちが伝わる音読になることを知ったか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p>日常生活でよく使われている平仮名や言葉を読むことができたか。</p> <p>アー(イ)</p>	<p>読み聞かせに注目し、お話に興味をもつことができたか。</p> <p>イー(エ)</p>
思考・判断・表現	<p>がまくんとかえるくんの立場の違いを捉えて、気持ちを想像することができたか。</p> <p>C(1)ーエ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像することができたか。物語の主題について考えることができたか。</p> <p>C(1)ーエ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>読み取ったことをもとに、中心人物の行動のわけを想像することができたか。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。</p> <p>C(1)ーイ</p>	<p>教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができたか。</p> <p>Cーア</p>	<p>教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができたか。</p> <p>Cーア</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>物語を読むことや、音読劇を発表することに対して目標をもって学習しようとしていたか。</p> <p>学んだことや友だちの意見を取り入れて、音読の仕方を工夫しようとしていたか。</p>	<p>単元に対する自分の目標をもち、目標達成のために見通しをもって学習しようとしていたか。</p> <p>自分の音読の様子を観たり、友だちの意見を聞いたりして、音読劇をよりよくしようと練習していたか。</p>	<p>学習活動のまとまりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしていたか。</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしていたか。</p>	<p>学習活動のまとまりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしていたか。</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしていたか。</p>	<p>物語を読むことや、音読劇を発表することに対して目標をもって学習しようとしていたか。</p> <p>いろいろな声の出し方を試して、音読劇をよりよいものにしようとしていたか。</p>	<p>「できるようにになりたいこと」「わかるようになりたいこと」を自分で決めて、学習しようとしていたか。</p> <p>自分の役の練習に前向きに取り組もうとしているか。</p>	<p>学習や学習内容に興味をもって取り組もうとしていたか。</p> <p>友だちの発表を聞こうとしていたか。</p>
自立活動	<p>自信をもって学習に取り組み、わかったことや、考えたことを伝えようとしていたか。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現したり意思表示したりしていたか。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>学級やグループの友だちと一緒に学習ができたか。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できたか。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>友達の意見や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができたか。</p> <p>(コミュニケーション)</p>	<p>課題に対して落ち着いて取り組むことができたか。</p> <p>(心理的安定)</p>	<p>少し難しそうと感じても、学習に取り組んでみようとしたか。</p> <p>(心理的安定)</p>

6 指導と評価の計画（17時間扱い）

次時	○主な学習活動・学習内容 【評価】（評価方法） ※指導の留意点 ☆支援						
	A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児
生活単元学習 2	<p>○昨年度の交歓会 DVD を視聴する。○知的障害対応特別支援学級と合同で、今年どんな発表にしたいか考える。</p> <p>○単元の見通しをもつ。 ・音読劇のやり方 ・交歓会の雰囲気との共有 ・単元の見通し</p> <p>※昨年度は「スイミー」の劇に取り組んだ。A児、C児、G児は今年度から支援学級に入級した。全員が交歓会の様子をイメージできるように DVD を視聴する。</p> <p>※児童の発達の段階に配慮して、生活に根付いた計画になるように、教科を横断した学習計画を展開する。</p> <p>※国語科第1次で共通教材「お手紙」から物語の読み方を学ぶ。第2次で読み取ったことを活かして、声や表情・動作などを工夫した音読劇の作り方を体験する。第3次で並行読書していた「ふたりは・・・」シリーズの中から、お気に入りの作品をみんなに紹介する。それぞれが紹介した作品の中から数点選んで音読劇にする。</p> <p>※生活単元学習では、音読劇の練習をしたり、舞台道具を作ったり、発表に向けた準備をする。</p> <p>※自立活動では、本単元の学習上の困難解決や自立の手助けとなる力や考え方が育まれるように個別、小集団で指導、支援する。</p> <p>※行事で、交歓会で発表したり、他校の発表を見たりする。</p> <p>☆単元の見通しを文字、写真、簡単なイラストなどで視覚化して掲示する。</p>						
	☆安心して学ぶことができるように、単元の見通しや、「本単元でできることになること」を視覚化して見せる。	☆単元のゴールに向かって主体的に学ぶことができるようになること」を視覚化して見せる。	☆集中して学ぶことができるように、単元のゴールまでの見通しが視覚化された表を手元に持てるように用意する。	☆落ち着いて学ぶことができるように、単元のゴールまでの見通しが視覚化された表を手元に持てるように用意する。	☆本単元のゴールを意識して学ぶことができるように、単元のゴールまでの見通しが視覚化された表を手元に持てるように用意する。	☆自信をもって学ぶことができるように、本人の学び方の良さを言葉にして伝える。	☆単元を通して、少しずつ参加の度合いを高めることができるように、取り組もうとする姿勢が見えたらすぐに称賛の声掛けをする。
朝読書	<p>○共通教材「お手紙」の読み聞かせを聞く。</p> <p>○音読をする。○1回目の音読の様子をタブレットで記録する。 ・本単元に対する自己認知</p> <p>※個々に目標をもったり、単元末に学びを振り返ったりする際に活用するために、1回目の音読の様子をそれぞれタブレットに記録する。</p> <p>☆前向きな気持ちで次時につなげられるように、良い点と課題をていねいに伝える。</p>						
						<p>○「ふたりは・・・」シリーズの作品を自由に手に取って見る。</p> <p>☆作品に親しむことができるように、希望したお話から読み聞かせする。</p>	

1	1	<p>○単元の計画を立てる。○第1次・第2次・第3次に分けて、個々の目標を考える。○個々の目標を伝え合う。</p> <p>・単元計画 ・個別の目標</p> <p>※選択肢やキーワードを示したり、児童に質問したり、具体的な目標が立てられている児童の目標を共有したりして、整理し、「上手に」「がんばる」など、曖昧にならないように配慮する。</p> <p>※児童と話しながら内容をできるだけ細分化して、本人が達成したか判断できるような目標になるようにする。</p> <p>※文にすることが難しい時には、児童本人の気持ちを聞き、言語化して提示する。</p>						
		<p>☆前向きに目標を立てることができるように、「現在できていること」を伝える。「さらにできたら嬉しいこと」を一緒に考える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物語を読むことや、音読劇を發表することに対して目標をもって学習しようとしていたか。</p>	<p>☆具体的な目標を立てることができるように、ワークシートや思考ツールを用意する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元に対する自分の目標をもち、目標達成のために見通しをもって学習しようとしていたか。</p>	<p>☆本単元のゴールに向かった個人目標を立てることができるように、ワークシートや思考ツールを用意する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動のまとめりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしていたか。</p>	<p>☆本単元のゴールに向かった個人目標を立てることができるように、ワークシートや思考ツールを用意する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動のまとめりごとに見通しをもち、目標をもって学習しようとしていたか。</p>	<p>☆前向きに目標を立てることができるように、「現在できていること」を伝える。「さらにできたら嬉しいこと」を一緒に考える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物語を読むことや、音読劇を發表することに対して目標をもって学習しようとしていたか。</p>	<p>☆目標を書くことができるように、ひらがな表を手元に用意する。また、口頭の發表を書き加えて補う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「できるようになりたいこと」「わかるようになりたいこと」を自分で決めて、学習しようとしていたか。</p>	<p>☆自分なりの目標をもって参加できるように、選択肢を用意する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習や学習内容に興味をもって取り組もうとしていたか。</p>
朝読書		<p>○「ふたりは・・・」シリーズのお話を並行読書する。</p> <p>○並行読書した中から、音読劇としてみんなで取り組んでみたいお気に入りの物語を選ぶ。</p> <p>※毎時間の1時間の終末に読み方の確認をしたり、児童の読み取りの実態を見取ったりすることができるように、共通教材「お手紙」に入る前に、お気に入りの1つ見つけて並行読書できるようにする。</p>		<p>○「ふたりは・・・」シリーズのお話の読み聞かせを聞く。</p> <p>○聞いたお話の中から、お気に入りの1つをお話を選ぶ。</p> <p>※何度も繰り返しお話に触れることができるように、もう一度聞きたいお気に入りの1つ見つけて、聞くようにする。</p>				

1	2 ・ 3	<p>○共通教材「お手紙」の設定を読み取る。</p> <p>・時、場所、登場人物、中心人物、対人物の読み取り</p> <p>○並行読書の物語で設定を読み取る。</p> <p>※共通教材で読み方を学習したら、並行読書の物語の読みで個々の実態を把握する。上手く読み取れていない場合には、個別の支援、指導をする。</p> <p>※並行読書で読み取ってまとめたものを、第3次までに少しずつ書き貯めて、発表する際の材料にする。</p> <p>※選んだ作品によっては、読み取りにくい内容がある場合がある。1つ1つの作品を確認して、例外があることを先に指導する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>○文字と言葉をむすびつける。</p> <p>・5文字までの言葉</p> <p>☆集中が続くように、フラッシュカードを用意する。</p> <p>☆楽しく学習に参加できるように、やりとりや、ゲーム性のある学習活動を用意する。</p> <p>○共通教材「お手紙」の中から、簡単な言葉(5文字まで)を見つける。</p> <p>☆自分で課題解決ができるように、挿し絵やイラストの補助を用意する。</p> <p>☆挑戦してみようという気持ちを引き出すために、文章の量を限定して提示する。</p>	
自立 4		<p>○様子や気持ちを表す言葉を集める。 ○様子や気持ちを表す言葉で簡単な短文を作る。</p> <p>・様子や気持ちを表す言葉 ・直接表現 ・慣用句 ・間接表現</p> <p>※物語を読んだり、読んだことを表現したりする際に必要な語彙を増やす。</p>	<p>○文字と音、言葉をむすびつける。</p> <p>・撥音、拗音、促音、長音</p> <p>☆学習の定着を図るために、知っている言葉や、イラストと結びつけることができるか見取る。</p> <p>☆集中が続くように、フラッシュカードを用意する。</p> <p>☆楽しく学習に参加できるように、やりとりや、ゲーム性のある学習活動を用意する。</p>	
☆並行読書から自力で設定が読めるように、共通教材で読み取りの観点を指導する。	☆自分から学習に向かうことができるように、ワークシート等、やるべき課題が明確な活動を組み合わせて提示する。発展的な学習を用意する。	☆集中して学ぶことができるように、ワークシートの課題を段階別に用意する。短い文章から少しずつ文章量を増やしていく。	☆落ち着いて学ぶことができるように、ワークシートの課題を段階別に用意する。1枚ずつ見取りをして、声掛けをする。	☆並行読書から自力で設定が読めるように、共通教材で読み取りの観点を指導する。
☆様子や気持ちを表す言葉の意味を他者と共有できるように、写真やイラスト、色のイメージなど、目に見て共有できる情報と結びつける課題を用意する。	☆読み取る、伝えるなどの場面で使うことができるように、言葉を調べたり、読んだり、文作りに使ったり、様々な方面から言葉に触れる学習活動を用意する。	☆語彙を増やすことができるように、書く負担を軽減して、多くの言葉を読んだり、選んだり、使ったりできるようにする。	☆様子や気持ちを表す言葉の意味を他者と共有できるように、写真やイラスト、色のイメージなど、目に見て共有できる情報と結びつける課題を用意する。	☆読み取る、伝えるなどの場面で使うことができるように、言葉を調べたり、読んだり、文作りに使ったり、様々な方面から言葉に触れる学習活動を用意する。

1	4 本時	<p>○共通教材「お手紙」から、2枚の挿絵を比較して、がまくん、かえるくん、かたつむりくんの気持ちを想像する。</p> <p>・叙述を根拠にした想像 ・挿絵の読み取り</p> <p>※直接表現だけでなく挿絵や、前後の文章の内容から気持ちを想像できることに気づけるようにする。</p> <p>※自立活動と合わせて指導・支援する。</p> <p>※「想像することができているか」は、気持ちの絵カードを選べるか、動作カードを選べるか、表情カードを選べるかなどで見取る。</p> <p>○振り返りをする。</p> <p>☆「気持ちを想像する」学習に取り組めるように、注目させたい表現に焦点化して学習活動を展開する。</p>					<p>○本文から、「人物が言ったこと」に当たる言葉を読む。</p> <p>☆自信をもって参加できるように、挿し絵やイラストを用意する。</p> <p>☆スモールステップで取り組むことができるように、文章の量を調整して提示する。</p> <p>※1文から取り組むようにする。</p> <p>※「 」を指導する。</p>	
	【思・判・表】 がまくんとかえるくんの立場の違いを捉えて気持ちを想像することができたか。 C(1)―エ	【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像することができたか。 C(1)―エ	【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)―イ	【思・判・表】 読み取ったことをもとに、中心人物の行動のわけを想像することができたか。 C(1)―イ	【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)―イ	【思・判・表】 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができたか。 C―ア	【思・判・表】 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目することができたか。 C―ア	
5	<p>○物語の結末を読み取る。</p> <p>・逆さ読み・挿絵の読み取り・リード文の読み取り・結末の読みとり</p>					<p>○本文から、「時」「場所」に当たる言葉を読む。</p> <p>☆自信をもって参加できるように、挿し絵やイラストを用意する。</p> <p>☆スモールステップで取り組むことができるように、文章の量を調整して提示する。</p>		
☆自分で読み取りに向かえるように、だれの視点で結末を読み取るのか、確認する。	☆自分で読み取りに向かえるように、だれの視点で結末を読み取るのか、確認する。	☆自分で結末の読み取りができるように、どの場面から結末を読み取るか確認する。	☆叙述にあった想像をできるように、前時までの学習と一緒に確認する。	☆叙述にあった想像をできるように、前時までの学習と一緒に確認する。				

1	6	<p>○共通教材「お手紙」から、中心人物「がまくん」の気持ちが変わった理由を読み取る。</p> <p>・中心人物の読み取り ・出来事の読み取り ・はじめ、おわり、きっかけの読み取り</p> <p>☆気持ちが変わったことを比較できるセンテンスカードを本文から3枚提示する。</p> <p>○それぞれが並行読書しているお気に入りのお話から、中心人物「がまくん」の気持ちが変わった理由を読み取る。</p> <p>○振り返りをする。</p>					<p>※はじめは1文から取り組むようにする。</p>	
	☆自分で読み取りに向かうことができるように、センテンスカードで焦点化する。	☆キーワードでまとめられるように、ワークシート等に字数制限をつける。	☆自分で読み取りに向かうことができるように、センテンスカードで焦点化する。	☆自分で読み取りに向かえるように、ヒントカードで、はじめ、おわり、きっかけを整理する。	☆自分で読み取りに向かえるように、ヒントカードで、はじめ、おわり、きっかけを整理する。	☆生活とつなげたり、語彙を増やしたりできるように、場面カードや1日の生活カードを用意する。	☆語彙を増やすことができるように、場所と場所の絵カードを用意する。	
1	7	<p>○共通教材「お手紙」から、中心人物「かえるくん」の気持ちの変化を図にまとめる。</p> <p>・登場人物の行動や台詞の読み取り・登場人物の心情の読み取り</p> <p>・中心人物の変化の読み取り</p> <p>☆前時にまでに学習した、中心人物「かえるくん」の気持ちの変化を図に表して提示する。はじめとおわりの変化を視覚的に捉えられるようにする。</p>					<p>○本文から、「人物がしたこと」に当たる言葉を読む。</p> <p>☆自信をもって参加できるように、挿し絵やイラストを用意する。</p> <p>☆スモールステップで取り組むことができるように、文章の量を調整して提示する。</p> <p>※はじめは1文から取り組むようにする。</p>	
	☆本人が、できていることを実感しながら学習を進めていけるように、課題を少しずつ提示して、見取りながら進める。	☆キーワードでまとめられるように、ワークシート等に字数制限をつける。	☆書くことへの負担感を軽減するため、書く量を調整する。 ☆取りかかりやすいように、課題を少しずつ提示する。	☆見通しを持って学べるように、個別に声掛けをする。一つずつ順を追って行っていくワークシートを用意する。	☆キーワードでまとめられるように、ワークシート等に字数制限をつける。	☆イメージと言葉をつなぐことができるように、動作カードを用意する。	☆簡単な動きと、動きを表す言葉に楽しく触れられるように、やり取りやゲームの要素の強い活動を行う。	

1	8	<p>○並行読書のお話で気持ちの変化を図にまとめる。 ※まとめたものは、紹介する際に使う。 ○振り返りをする。</p>					<p>○本文から、だれの台詞かを読む。 ☆自信をもって参加できるように、挿し絵やイラストを用意する。 ☆スモールステップで取り組むことができるように、文章の量を調整して提示する。 ※はじめは1文から取り組むようにする。</p>	
		<p>○具体的なことを、抽象的なグループでまとめる学習に取り組む。 ☆主題の読み取りにつながられるように、読み取った具体的なことを一緒に抽象化する。</p>	<p>○具体的なことを、抽象的なグループでまとめる学習に取り組む。 ☆主題の読み取りができるように、読み取った具体的なことを抽象化してまとめるワークシートを用意する。</p>	<p>※中心人物、出来事、変容をまとめられるようにする。 ☆どんなお話だったか、他者と共有できるように、ワークシートを用意する。</p>	<p>※中心人物、出来事、変容をまとめられるようにする。 ☆どんなお話だったか、他者と共有できるように、ワークシートを用意する。</p>	<p>※中心人物、出来事、変容をまとめられるようにする。 ☆どんなお話だったか、他者と共有できるように、ワークシートを用意する。</p>		
	9	<p>○共通教材「お手紙」から、作品の面白さを読み取る。 ・中心人物のこだわり・結末に至った理由・物語のおもしろさ(からくり、言葉、シリーズもの、行動 など)・中心人物の変化の読み取り ・物語の主題の読み取り</p>					<p>○お話の好きなところやおもしろさを読む。</p>	
		<p>☆学習に取りかかれるように、具体物を用意する。 ☆安心して学習に向かえるように、訂正がしやすい教材を用意する。</p>	<p>☆感覚的に捉えていることを、他者と共有できるように、挿し絵や文字などにつなげる。</p>	<p>☆注目してほしい表現に注意が向けられるように、場面を限定した教材を提示する。</p>	<p>☆注目してほしい表現に注意が向けられるように、場面を限定した教材を提示する。</p>	<p>☆感覚的に捉えていることを、他者と共有できるように、挿し絵や文字などにつなげる。</p>	<p>☆生活や体験等と結びつけると習得しやすい強みを生かして、共感的な読みができるように支援する。</p>	<p>※好きなお話の場面絵カードを選ぶ。 ☆無理なく参加できるように、場面絵カードを用意する。</p>
		<p><b>【自立活動】</b> 自信をもって学習に取り組む、わかったことや、考えたことを伝えようとしていたか。 (コミュニケーション)</p>	<p><b>【思・判・表】</b> 物語の主題について考えたりすることができたか。  C(1)一エ</p>	<p><b>【自立活動】</b> 学級やグループの友だちと一緒に学習ができたか。  (心理的安定)</p>	<p><b>【自立活動】</b> スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できたか。  (心理的安定)</p>	<p><b>【自立活動】</b> 友達の意見や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができたか。  (コミュニケーション)</p>	<p><b>【自立活動】</b> 課題に対して落ち着いて取り組むことができたか。  (心理的安定)</p>	<p><b>【自立活動】</b> 少し難しく感じても、学習に取り組んでみようとしていたか。  (心理的安定)</p>

2	10	<p>○叙述をもとに、人物の気持ちを想像する。</p> <p>○想像したことに合う、声の調子や簡単な動きを考える。</p> <p>○考えたことをみんなで出し合い、台本に記録する。</p> <p>○音読劇の練習をする。</p> <p>○グループで読み合わせをする。</p> <p>・叙述をもとにした想像・自分の経験などと比較した読み</p> <p>・声や動きなどを工夫した読み ※タブレットで録画</p>	<p>○役を決めて、練習する。</p> <p>※自信をもって参加できるように、早めに役を決めて練習する時間を多くとる。</p>						
	11			<p>○役を決めて、練習する。</p> <p>※自信をもって参加できるように、早めに役を決めて練習する時間を多くとる。</p>					
12	<p>☆人前で話すことの苦手さに配慮する。本人の読む力が正しく評価されるように、音読の工夫について、パフォーマンス評価ではなく、記録による評価を合わせて行う。</p>	<p>☆考えることをはっきりさせて、主体的に学習に取り組めるように、選択肢や例などを示す。</p>	<p>☆書くことの苦手さに配慮する。本人の読む力が正しく評価されるように、工夫を言語化して書けなくても、タブレットに音読して記録できていれば評価する。</p>		<p>☆最後まで集中して学習に取り組むことができるように、タブレットに様々な読み方を録画する学習活動にする。</p>	<p>☆様々なアイデアを試すことができるように、タブレットに様々な読み方を録画する学習活動にする。</p>	<p>☆繰り返し範読を聞いて、本文を暗唱できるようにする。</p> <p>☆「できている」が積み重なるように、本人の実態に合った目標を共有して、目標に沿って称賛の声掛けをする。</p>	<p>☆少しずつ参加できるように、繰り返し声掛けをする。</p> <p>☆やることがはっきりするように、取り組むことをリスト化する。</p>	
		<p><b>【自立活動】</b></p> <p>自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現したり意思表示したりすることができたか。</p> <p>(コミュニケーション)</p>							
		<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選ぶことができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>読み取ったことをもとに、声や表情、動作などを工夫して音読することができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>場面に合わせた声の出し方や、表情を選ぶことができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>言葉のまともに気をつけて、慌てずに音読することができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>声や表情、動作を工夫すると気持ちが伝わる音読になることを知ることができたか。</p> <p>(1)ーク</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>日常生活でよく使われている平仮名や言葉を読むことができたか。</p> <p>アー(イ)</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>読み聞かせに注目し、お話に興味をもつことができたか。</p> <p>イー(エ)</p>	



2	13	<p>○グループごとに発表する。</p> <p>○それぞれの読み方の意図や良さを共有する。</p> <p>・意見の交流・自分の学びの調整</p>						
		<p>☆友だちの読みの良さや、自分の学びの調整について、後から見直せるように、記録する時間を設定する。</p>	<p>☆学びを深めたり、自分の学びを調整しやすいように、聞き方の観点を示す。</p>	<p>☆書くことの負担を軽減して、考えることに重点が置けるように、記録は選択肢を用意する。 ※学びの調整は、タブレットに録音した経過を見取る。</p>	<p>☆活動を焦点化するため、記録は選択肢を用意する。 ※学びの調整は、タブレットに録音した経過を見取る。</p>	<p>☆友達の見方の良さや、自分の学びの調整について、考えたことを表現できるように、記述する時間を十分にとる。</p>	<p>☆書くことの負担を軽減して、考えることや活動に重点が置けるように、記録は書く量を最小限にする。</p>	<p>☆参加しやすくするために、書くことの負担を軽減する。</p>
		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学んだことや友だちの意見を取り入れて、音読の仕方を工夫しようとしているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分の音読の様子を観たり、友だちの意見を聞いたりして、音読劇をよりよくしようと練習しているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>場面の様子に合う声や表情を試して、見つけようとしているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>いろいろな声の出し方を試して、音読劇をよりよいものにしようとしているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分の役の練習に取り組もうとしているか。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>友達の発表を聞こうとしているか。</p>
	自立活動	<p>○声、表情、身振り手振りで気持ちを伝えるゲームで遊ぶ。</p> <p>☆疑似的に感情を表面に出す練習になるように、ゲーム形式の学習活動を用意する。</p> <p>☆気づきや学びの調整を得られるように、声掛けする。</p>						
	6	<p>○振り返りをする。</p>						
		<p>☆自信をもてるように、小さな伸びにも肯定的な言葉をかける。</p>	<p>☆他の児童がよいモデルになるように、順番を後にする。</p>	<p>☆様々な表現を試せるように、練習する時間を設定する。</p>	<p>☆勝ち負けでなく、表現の工夫に意識が向くように、ルールを調整する。</p>	<p>☆良さを発揮できるように、みんなの前でよい表現を称賛する。</p>	<p>☆良さを発揮できるように、みんなの前でよい表現を称賛する。</p>	<p>☆勝ち負けでなく、表現の工夫に意識が向くように、ルールを調整する。</p>

3	14・15・16	<p>○並行読書した中から、劇にしたいお話の大体をまとめる。</p> <p>○並行読書した中から、劇にしたいお話を紹介する。</p> <p>○並行読書した中から、共通教材で学習したことを活かして音読劇を作る。</p>						○紹介を聞く。
		☆考えたことを自信をもって伝えられるように、話型を提示する。	☆自分で紹介する内容を選択できるように、紹介することの観点を示す。	☆考えたことを自信をもって伝えられるように、話型を提示する。	☆整理して紹介することができるように、話型を提示する。	☆整理して紹介することができるように、話型を提示する。	☆考えたことを自信をもって伝えられるように、話型を提示する。	☆聞くことに集中できるように、聞いた後に答える簡単なクイズを用意する。
	生活単元学習	<p>○役を決める。音読劇の練習をする。</p> <p>☆それぞれの良さが生かせるように、見取って、声をかける。</p> <p>○劇の背景や小道具を作る。</p>						
	14	☆自信をもって参加できるように、自分の気持ちが言えるように促す。 ☆良さを発揮できるように、事前にワークシートを提示して、アイデアを募る。	☆考えたことを表現する楽しさが味わえるように、意見がみんなに伝わるように整理する。 ☆良さを発揮できるように、アイデアをたくさん聞く。	☆やってみたい役を選ぶことができるように、どんな役があるのか可視化して提示する。 ☆良さを発揮できるように、制作の枠を大きく設定する。	☆考えたことを表現する楽しさが味わえるように、意見がみんなに伝わるように整理する。 ☆良さを発揮できるように、アイデアをたくさん聞く。	☆自信をもって参加できるように、自分の気持ちが言えるように促す。 ☆良さを発揮できるように、アイデアをたくさん聞く。	☆やってみたい役を選ぶことができるように、どんな役があるのか可視化して提示する。 ☆良さを発揮できるように、作業の手順を簡単に紹介する。	☆参加しやすいように、事前に個別で声をかける。 ☆良さを発揮できるように、作業の手順を簡単に紹介する。成果物をみんなに紹介する。
	行事	<p>○交歓会で発表する。</p> <p>○交歓会で発表を観る。</p> <p>☆これまでの学習を活かして、いきいきと参加できるように、声をかける。</p> <p>☆自信をもって参加できるように、リハーサルを計画的に行う。</p>						☆少しでも楽しく参加できるように、事前の見通しを丁寧にする。 ☆達成感をもって終えることができるように、参加の形態を考える。
	17	<p>○単元の学習を振り返る。</p>						
		☆自分の具体的な伸びや良さに気づけるように、映像資料等を用意する。	☆学習したことを整理して今後活かせるように、ワークシートを用意する。	☆単元に取り組む前の様子を想起できるように、映像資料等を用意する。	☆めあてに沿って振り返れるように、観点を示す。	☆自分の具体的な伸びや良さに気づけるように、映像資料等を用意する。	☆めあてに沿って振り返れるように、選択肢を示す。	☆めあてに沿って振り返れるように、選択肢を示す。

7 本時の学習 (4/17)

(1) 共通目標

○2枚の挿絵を比べて、気持ちのちがいがわかる。

(国語科)

(2) 本時に係る児童の実態及び個別の個人目標

学年	名前	本題材に関する実態	個人目標		支援の手立て
			国語科	自立活動	
	A	(省略)	がまくんとかえるくんの立場の違いを捉えて気持ちを想像することができたか。 C(1)ーエ	自信をもって学習に取り組み、わかったことや、考えたことを伝えようとしていたか。 (コミュニケーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>間違い文を手元に用意する。</li> <li>挿絵カードを用意する。</li> <li>手元に絵カードと吹き出しカードを用意する。</li> <li>書いたことを評価する。</li> </ul>
	B	(省略)	読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像することができたか。 C(1)ーエ	自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現したり意思表示したりすることができたか。 (コミュニケーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋めワークシートを用意する。</li> <li>挿絵カードを用意する。</li> <li>絵カードと矢印チャートを用意する。</li> <li>選んだ音読の工夫とその理由が書けるワークシートを用意する。</li> </ul>
	C	(省略)	読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ	学級やグループの友だちと一緒に学習ができたか。 (心理的安定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢を選ぶワークシートを用意する。</li> <li>挿絵カードを用意する。</li> <li>絵カードとツリー図を用意する。</li> </ul>
	D	(省略)	読み取ったことをもとに、中心人物の行動のわけを想像することができたか。 C(1)ーイ	スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できたか。 (心理的安定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋めワークシートを用意する。</li> <li>挿絵カードを用意する。</li> <li>手元に絵カードと吹き出しカードを用意する。</li> </ul>
	E	(省略)	読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ	友達の見方や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができたか。 (コミュニケーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋めワークシートを用意する。</li> <li>挿絵カードを用意する。</li> <li>絵カードとツリー図を用意する。</li> </ul>

学年	名前	本題材に関する実態	個人目標		支援の手立て
			国語科	自立活動	
	F	(省略)	<p>教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができたか。</p> <p>Cーア</p>	<p>課題に対して落ち着いて取り組むことができたか。</p> <p>(心理的安定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択肢を選ぶワークシートを用意する。</li> <li>・比較しやすいように、挿絵を2枚に限定する。</li> <li>・ワークシートと表情カード、動作カードを用意する。</li> <li>・成果が残る学習活動を用意する。</li> </ul>
	G	(省略)	<p>教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができたか。</p> <p>Cーア</p>	<p>少し難しそうと感じても、学習に取り組んでみようとしていたか。</p> <p>(心理的安定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択肢を選ぶワークシートを用意する。</li> <li>・比較しやすいように、挿絵を2枚に限定する。</li> <li>・表情カードを用意する。</li> <li>・本時の学習活動を好きな活動と組み合わせて提示する。</li> </ul>

(3)展開

段階	学習活動	学習内容	指導上の留意点(※) 評価							分
			A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児	
とらえる	1 単元のゴールを確認する。	○単元のゴール『声の出し方やうごきをくふうしてあけたちげき場を開こう』	<p>★「物語を読んでみたい。」「中心人物気持ちを読めるようになりたい。」「学んだことやお話の面白さを発表したい。」という児童のニーズから、「声の出し方やうごきをくふうしてあけたちげき場を開こう」を単元のゴールとした。ゴールのイメージを共有できるように、音読劇を視聴し、写真やイラスト入りの単元計画を用意する。(I)</p> <p>※ 児童が「読めそう。読めた。共有できる。」と自信をもって学べるように、読み取りの方法について、各児童の実態に合わせて丁寧に指導する。</p>							4
	2 共通教材「お手紙」を使って、読み間違い探しに取り組む。	○既習事項の想起 【読み方：既習】 ・設定(時・場・季節・時代) ・人物(登場・中心・対・地) ・出来事(中心・主な) ○重要語句 【読み方：本時】 ・中心人物の変化 ・三部構成 ・関係性 ・繰り返し	<p>※ 既習事項である物語の設定や、人物像、気持ちなど本時のめあてに係る文中の重要な言葉に意識が向くように、意図的に読み間違いを設定する。 ※ 全員が参加できるように、テンポよく進める。</p> <p>☆記憶に頼らずに回答できるように、間違い文を手元に用意する。</p> <p>☆文中の重要な言葉を意識づけられるように、穴埋めワークシートを用意する</p> <p>☆書く負担を軽減して、テンポよく参加できるように、選択肢を選ぶワークシートを用意する。</p> <p>☆文中の重要な言葉を意識づけられるように、穴埋めワークシートを用意する。</p> <p>☆文中の重要な言葉を意識づけられるように、穴埋めワークシートを用意する。</p> <p>☆書く負担を軽減して、テンポよく参加できるように、選択肢を選ぶワークシートを用意する。</p> <p>☆書く負担を軽減して、テンポよく参加できるように、選択肢を選ぶワークシートを用意する。</p>							5
	3 本時のめあてをつかむ。	○本時のめあて ○学習の見通し	<p>【めあて】「お手紙」を読んで、気持ちをそうぞうしよう。</p>							
	4 挿絵を並び替える。	○挿絵の読み取り ○お話の順序	<p>☆お話の大体を共有したり、本時学ぶことを可視化したりするために挿絵の並び替えを設定する。また、児童にとって取り組みやすい活動が学習のはじめにあることで思考を整理し、参加を促すことにつながると思う</p> <p>※ 個別に取り組む段階で並び替えができない場合には、挿絵にセンテンスカードを補足する。 ※ 児童が並び替える挿絵の種類と枚数については、個々のめあてが達成されるように調整する。 ※ 正しく並び替えられた挿し絵カードについては、ワークシートに貼って本時以降に活用できるようにする。</p>							3

ふかめる	5 2枚の挿絵を比較する。  【発問】 『この2枚の挿絵は同じだから、順番は考えなくてもいいかな。』	○挿絵と文章 ○挿絵の比較 ○人物の変化	☆物語の全体を捉えられるように、挿絵カードを9枚用意する。	☆物語の全体を捉えられるように、挿絵カードを9枚用意する。	☆物語の全体を捉えられるように、挿絵カードを9枚用意する。	☆気持ちの変化とそのきっかけに焦点化するよう、3枚の挿絵を用意する。	☆気持ちの変化とそのきっかけに焦点化するよう、3枚の挿絵を用意する。	☆取り組みやすく、次の活動で比較しやすいように、2枚の挿絵に限定する。	☆取り組みやすく、次の活動で比較しやすいように、2枚の挿絵に限定する。	12
			<p>★挿絵②(かなしい気持ちでお手紙を待つふたり)と挿絵⑧(うれしい気持ちでお手紙を待つふたり)の絵を比較する学習活動を設定する。挿絵を2枚に限定することで考えることをはっきりさせて、みんなで学べるようにする。2つの場面を比較することで、登場人物の気持ちや性格、行動の理由を読み取って想像したり、気持ちの変化に気づいたりしやすくなることを意図している。(Ⅲ)</p> <p>・〈仮説①に対する本時の手立て〉 手立て【発問の吟味】読みの実態が異なるそれぞれの児童が参加できるように、考えることが明確であること、発問をきっかけとして読みが深まることを意図して発問を吟味した。</p> <p>・〈仮説③に対する本時の手立て〉 手立て【思考の整理】「気持ちや性格、行動の理由、変化などを想像することができるか」は、気持ちの絵カードを選べるか、動作カードを選べるか、表情カードを選べるかなどで可視化して見取る。また、それぞれの読みの到達目標に合わせて、思考ツールを用意する。</p>							
ふかめる	【発問】 『文中に「ああ」という台詞が2回でてきますね。読み方は同じでしょうか。ちがうでしょうか。理由は。』	○場面や人物の気持ちに合わせた音読の工夫	☆どちらの気持ちを読もうとしているのか捉えた上で読み取れるように、手元に絵カードと吹き出しカード用意する。	☆場面の様子や前後の文章からも行動の理由が読みとれるように、絵カードと矢印チャートを用意する。	☆叙述を根拠に想像できるように、絵カードとツリー図を用意する。	☆どちらの気持ちを読もうとしているのか捉えた上で読み取れるように、手元に絵カードと吹き出しカード用意する。	☆叙述を根拠に想像できるように、絵カードとツリー図を用意する。	☆お話から読んで想像したことと、言葉とを結びつけられるように、ワークシートと表情カード、動作カードを用意する。	☆本時の活動が明確になり、向かいやすいように、表情カードを用意する。	8
			<p>※最後に、読み取ったことを音読劇につなげる学習活動を設定した。挿絵②の場面の「ああ」と、挿絵⑧の場面の「ああ」を比べる。 ☆「音読の仕方の工夫」は、児童の答えが抽象的で曖昧になることが予想される。共有化を図るため、選択肢の中から適切な選択をすることができるか見取る。選んだ理由については、本時の学習を生かして、それぞれの言葉で表現できるようにしたい。</p> <p>○本文から、「人物が言ったこと」に当たる言葉を読む。 ☆自信をもって参加できるように、挿し絵やイラストを用意する。 ☆スモールステップで取り組むことができるように、</p>							

	6 本時のまとめをする	○学習のまとめ	<p>☆読み取れていても、表現に結びつかないことが予想される。ワークシートで児童がどのように音読の工夫をしようとしているのか汲めるようにしたい。</p>	<p>☆文章や挿絵に表現されていることを根拠に音読の工夫ができるように、選んだ音読の工夫とその理由が書けるワークシートを用意する。</p>	<p>☆どの場面の、だれの台詞かを捉えた上で考えられるように、視覚的情報を手元に残しておくようにする。  ☆理由を伝える文表現について、必要に応じて指導する。  ☆文章から読み取ったことを根拠に、音読の工夫をすることをそれぞれ個別に指導する。  ☆ワークシートで、向かう課題が1つずつ、はっきりしているようにする。  ☆正答して学習を終えられるように内容を調整する。</p>	はじめは、1文から取り組むようにする。	<p>☆誰の台詞か理解しながら読めるように、シールを用意する。</p>	<p>☆自分で学習課題に向かうことができるように、点つなぎや間違い探しなど本人の好きな活動と組み合わせて提示する。</p>
<p>【思・判・表】 がまくんとかえるくんの立場の違いを捉えて気持ちを想像することができたか。 C(1)ーエ</p>	<p>【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像することができたか。 C(1)ーエ</p>	<p>【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ</p>	<p>【思・判・表】 読み取ったことをもとに、中心人物の行動のわけを想像することができたか。 C(1)ーイ</p>	<p>【思・判・表】 読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ</p>	<p>【思・判・表】 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができたか。 Cーア</p>	<p>【思・判・表】 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目することができたか。 Cーア</p>		
<p>評価場面1【知識・技能】  &lt;評価方法&gt; ワークシート・観察 ・それぞれの学習活動に取り組み、達成することができた児童をBとする。  &lt;「努力を要する状況」(C)への手立て&gt; ・個別の支援による</p>								
<p>★児童の言葉で学習のまとめができるようにしたい。上手く言葉にできない時には、児童の発言を汲んで、一緒にまとめられるようにする。(IV)</p>								
<p>【まとめ】挿絵と文章で表されている。  音読げきは挿絵の代わりに表情・動き・声で伝える。  同じ台詞でも気持ちによって、読み方がちがう。  がまくんは、かえるくんからの手紙でかなしい気持ちからうれしい気持ちに変わった。</p>								

は ぐ く む	7 本時の学習を振り返る。	○学んだことの確認と共有 ○単元のゴールと本時の学習の関連 ○次時への見通し	<b>【自立活動】</b> 自信をもって学習に取り組み、わかったことや、考えたことを伝えようとしていたか。 <small>(コミュニケーション)</small>	<b>【自立活動】</b> 自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現したり意思表示したりすることができたか。 <small>(コミュニケーション)</small>	<b>【自立活動】</b> 学級やグループの友だちと一緒に学習ができたか。 <small>(心理的安定)</small>	<b>【自立活動】</b> スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できたか。 <small>(心理的安定)</small>	<b>【自立活動】</b> 友達の意見や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができたか。 <small>(コミュニケーション)</small>	<b>【自立活動】</b> 課題に対して落ち着いて取り組むことができたか。 <small>(心理的安定)</small>	<b>【自立活動】</b> 少し難しく感じても、学習に取り組んでみようとしていたか。 <small>(心理的安定)</small>	7	
			<p>・〈仮説②に対する本時の手立て〉</p> <p>手立て【発問の吟味】個々の実態に応じて、振り返りの方法を変える。選択したり、観点を示したり、自由に記述したり、類似の問題を解いたり、実践したりなどである。</p> <p>※本時の学習を活かして取り組める内容にする。          ※本時の学習を視覚的に残して、次時の学習に活かせるようにする。          ※児童の読み取りの様子を把握して、支援、指導に活かせるようにする。          ※それぞれの学習活動を全体で共有できるようにして、児童が自らの学びや成長を実感できるようにする。          ※単元のゴールに向かって、本時の学習で何を学んだのか振り返ることができるようにする。</p>								
			☆自分の学びを安心して文章にできるように、話型を示す。	☆めあてにそった振り返りができるように、振り返りの視点を示す。	☆思考が整理できるように、話型を示す。	☆次回の学習や生活につながるように、類似の問題を振り返りとして用意する。	☆自分の言葉でまとめていけるように、記述していることを価値づける。	☆無理なく振り返りができるように、選択肢を用意する。	☆「取り組めた」「できた」という気持ちで終わられるように、具体的な称賛の声掛けをする。		



(4) 共通目標に係る評価規準

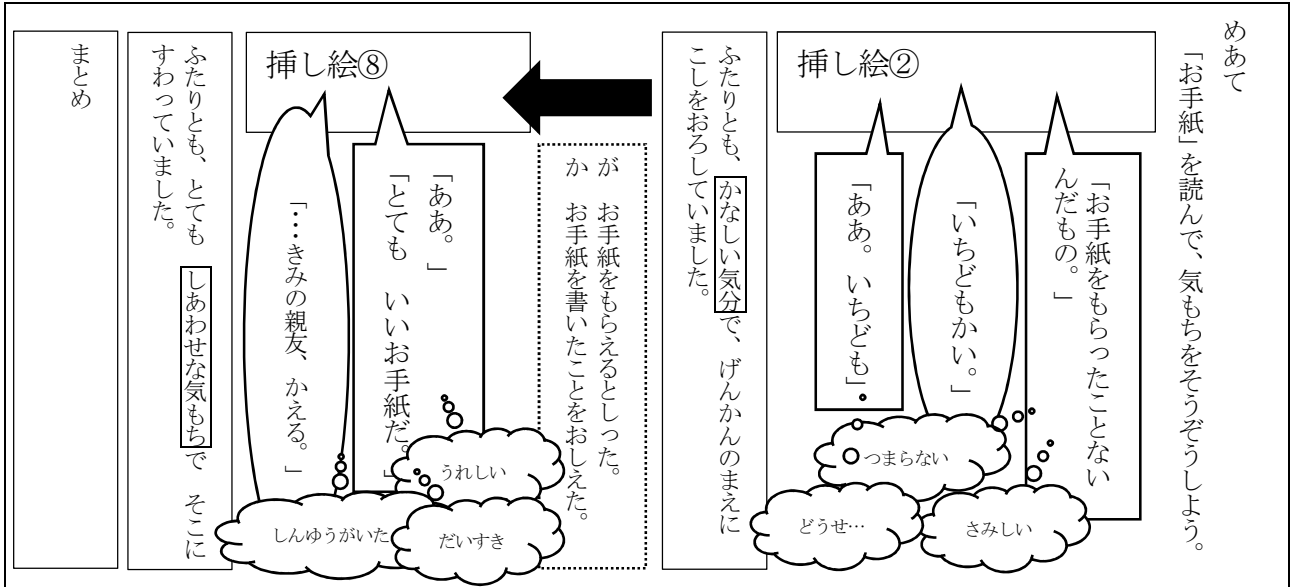
○2枚の挿絵を比べて、気持ちのちがいがわかったか。

(国語科)

(5) 個人目標に係る評価基準

名前	評価	
	国語科	自立活動
A	がまくんとかえるくんの気持ちの変化やそのきっかけを、文章から読むことができたか。 C(1)ーエ	自信をもって学習に取り組み、わかったことや、考えたことを伝えようとしていたか。 (コミュニケーション)
B	がまくんとかえるくんの行動、気持ち、性格を想像したり、物語の主題について考えたりすることができたか。 C(1)ーエ	自分の考えていることや気持ちを、言葉などで表現することができたか。 (コミュニケーション)
C	読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ	学級やグループの友だちと一緒に学習ができたか。 (心理的安定)
D	がまくんとかえるくんの気持ちの変化やそのきっかけを、文章から選ぶことができたか。 C(1)ーイ	スケジュールカード等の支援を活用して、見通しをもって参加できたか。 (心理的安定)
E	読み取ったことをもとに、がまくんとかえるくんの行動、気持ちなどを想像することができたか。 C(1)ーイ	友達の意見や考えを聞き、自分の考えを整理したり深めたりすることができたか。 (コミュニケーション)
F	教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができたか。 Cーア	課題に対して落ち着いて取り組むことができたか。 (心理的安定)
G	教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができたか。 Cーア	少し難しそうと感じても、学習に取り組んでみようとしていたか。 (心理的安定)

## 8 板書計画



## 9 教室配置図

